



菜の花に
かわいい天使が
まいおりる
山善

ミツバチに注意して

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第101号 平成17年4月28日

平成17年度

行財政改革予算 2p

見直される各イベント

平成17年度予算審議 4p

阿尾不毛 今後の利用について 一般質問

6p

内原東・西処理区統合へ 委員会レポート

13p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

単独、自立を歩む 行財政改革予算

17年度予算

一般会計	38億7365万円
特別会計	23億9709万円
予算総額	62億7074万円
水道事業会計	
収益的収入	2億9790万円
収益的支出	2億1167万円
資本的支出	3億9927万円

3月定例会は3月11日から15日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された、一般会計をはじめ、5件の特別会計、水道事業会計、条例案件、監査委員、教育委員選任の人事案件、平成16年度の補正予算など、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決し、25日に閉会した。

一般会計予算

歳入予算は

国の三位一体改革の推進に伴い、地方交付税に関連して臨時財政対策債の大幅削減、自主財源である町税の減収など、益々厳しい状況にあり、行財政改革の中で、財政調整基金4億円を取り崩した予算となっている。

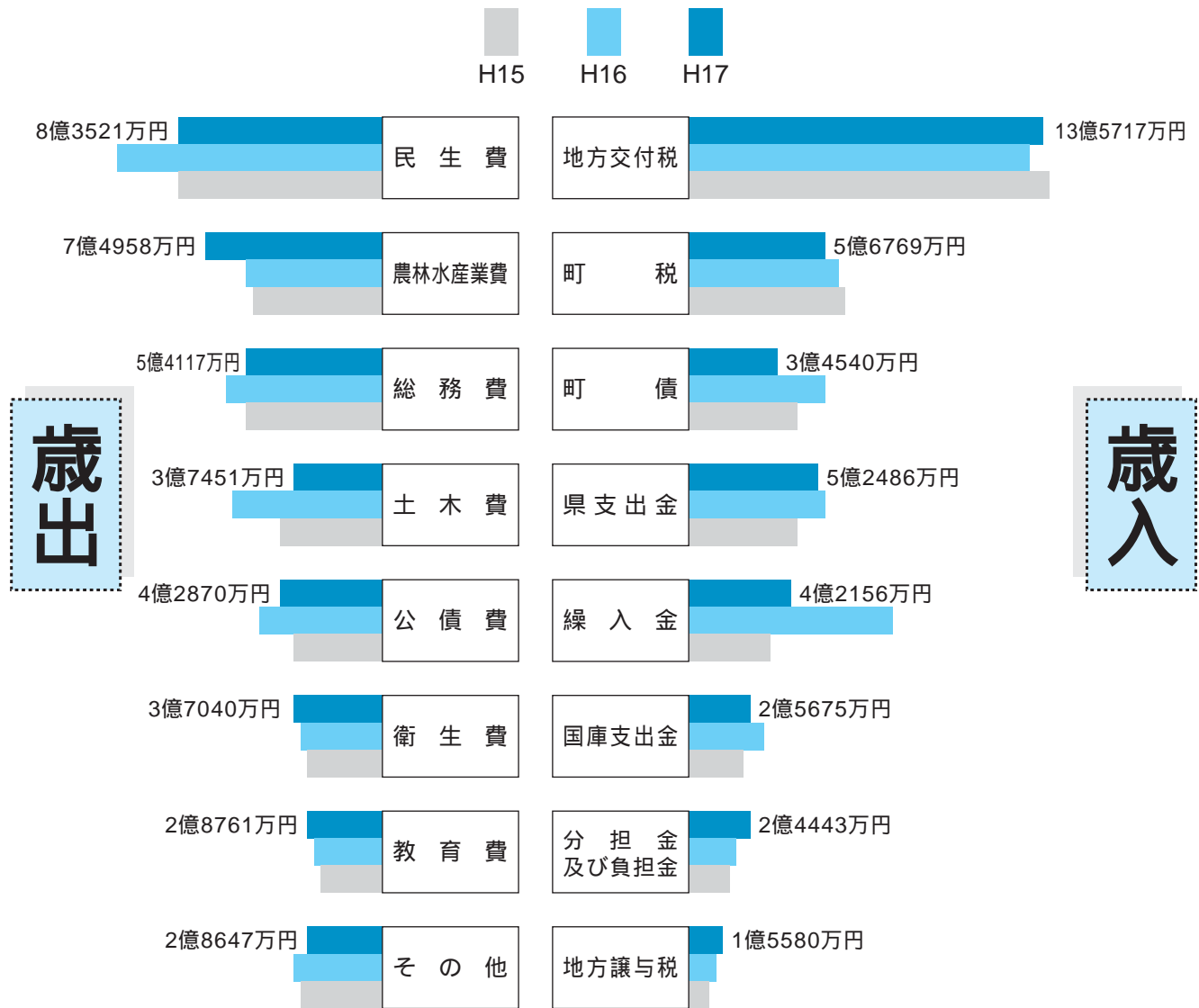
歳出予算は

行財政改革による人件費の削減、各種補助金の削減等、一方地震対策の導入があるが、対前年度比15.6%減の縮減予算である。

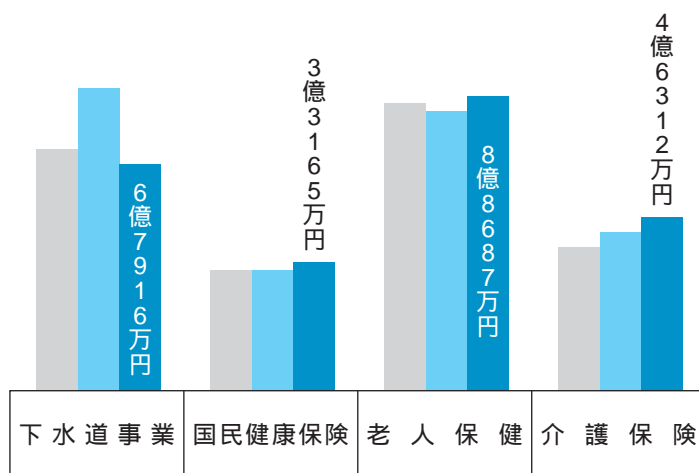
水道事業会計予算は

本年度から簡易水道より上水道への移行のため、独立採算の企業会計となり、料金値上げとなる。

一般会計予算の主な内容



特別会計予算の主な内容



予算審議

平成17年度一般会計

見直される各イベント

主な質疑

問 前期全納報奨金の対象となる税は。前期全納者は増えているのか。

総務課長 対象は固定資産税と町、県民税の普通徴収。前期全納者は増えている。

問 防災行政無線個別受信機の購入費の説明を。

総務課長 聞こえにくい各家庭に室内用として置く受信機20個分である。

問 ペットボトル回収の委託料、委託先は。

保健衛生課長 本年度より大洋化学さんが、無料で回収してくれる事になった。

問 農業総務費のアンケート調査の内容は。



今後どうなるクエフェア

産業課長 農業の後継者不足や、高齢化が進む中で、農地の貸し借りを調査するもの。

問 温泉館の入館者が毎年減少しているが、本年度の目標は。

温泉館長 本年度は8万5千人を目標にしている。

問 増客に対する対策など、一つも講じられていないが。

温泉館長 入館者増を目指す。指し、PR活動に取り組む。

問 産業まつりの廃止、クエフェア、ふれあい祭の事業費の削減、町のイベントの柱は何か。

産業課長 クエフェア、ふれあい祭の2本でいろいろと工夫してやっていく。



より楽しいイベントへ

賛成討論

人件費、その他幅広く経費の削減に努められているが、予算執行に際しては更なる運営への取り組みと、速やかに尚一層の行財政改革に取り組みよう求め、賛成討論とする。

楠新一 議員

みは不十分である。今後の取り組みを期待して賛成討論とする。

山本善啓 議員

人件費や各種補助金などの削減に努められているが、委託料など検討すべき課題もある。今後の行政運営については、住民の幸せを第一に考えて行政に於けるよう要望して賛成討論とする。

西岡佳奈子 議員

執行部 自らが大幅な人件費の削減をされた、今の気持ち十分腹に据え、今後益々の行革を期待し賛成討論とする。

山本源昭 議員

議長就任挨拶

大役を賜り光栄に思うと共にその責任の重さを感じています。

議会の使命は正しい批判と監視であり執行部とは一歩離れた姿勢で臨むものと考え、十分活発な活動ができるよう心がけて参りたい。



玉置 正之 副議長



一松 輝夫 議長

日高町課設置条例の一部を改正する条例

介護保険に関する事項を住民課より保健衛生課に移行する条例。

主な質疑

問 移行する理由は。

助役 18年4月1日から老人保健事業が介護保険と合体となり、これらの業務と一緒にやるため移行する。

平成16年度関係議案

一般会計

既定の予算総額から歳入歳出それぞれ292万8千円を減額し、補正後は、49億4569万5千円とする。

主な内容は議会費、民生費や災害復旧費の減額等。

主な質疑

問 農村総合整備事業、町道改良事業の繰り越しとなった理由は。

建設課長 農村総合整備事業については、工事施工において地権者との話し合いが難航し、一時工事を中止したため。

町道改良事業については、用地交渉が難航したため。

問 工事に際しての行政側と地元との意志の疎通はどうなっているのか。

建設課長 今後は地元との協議を深め、繰り越しのないよう進める。

繰越事業

17年度へ繰り越した事業費総額は2億4495万円

- 農村総合整備事業 6660万円
- 荊木・萩原ほ場整備 17年6月末完成予定

町道改良事業

- 1億4459万円
- 町道高家下志賀線 18年3月末完成予定
- 町道下志賀1号線 17年6月末完成予定
- 町道鹿ヶ瀬線 17年6月末完成予定

農業用施設災害復旧事業

- 2338万円
- 坂の谷池（小中）外1件 17年8月末完成
- 大井池（柏） 17年12月末完成

漁港災害復旧事業

- 1038万円
- 産湯・田杭漁港施設 17年12月末完成



急ピッチですすめる ほ場整備（荊木地内）

未来をきずく

Q & A いっぱん質問

市ノ瀬 進 議員 遊休地の利用について

町長 慎重に検討していく



阿尾不毛の利用は

問 3年前、藤和不動産より購入した東高坪山について、当時一部開発等、可能と言ったような話を聞いたがどのようになっているか。

町長 東高坪山についてはほとんどが山林で、その多くが県立自然公園内であり、自然環境保護に努めていきたい。

町長 保全を基本としてつそれを有効活用することは重要であると考えているが、それには十分な準備期間が必要であり、慎重に検討していきたい。

問 阿尾地内湿原地を三菱商事より寄付をしていただいた13万㎡の土地は、今後どのような利用をしていくのか。
町長 県立自然公園内であると共に、県の鳥獣保護区域に指定されており、多くの野鳥が飛来し、海岸に面した広大な湿原地は当町の貴重な財産であり、保全は町の責務であると認識している。

問 当町には広い土地が無く、この土地の一部を開発し、育てる漁業または農業振興のためハウス等を作っては。

問 3町合併、2町合併も断念し、今後は単独で行くとなると財源も非常に厳しく行財政改革も早く取り組まなければならない。

めており町事務組織規則で所掌事務を明確に、行政事務の適性かつ能率的な運営を図っている。

課の統合は

問 教育委員会も含め、12の課が設置されている。今後、課の統合を検討していくつもりはないか。
町長 日高町課設置条例で12課等設置し、事務分掌を定



今後の「まちづくり」を企画するアイデア事業課等の設置を検討してはどうか。
町長 今後行財政改革を進める上において十分検討する。

臨時職員について

問 臨時職員等の内容について。

町長 臨時職員は18名で建設課1名、管財課4名、教育委員会4名となっている。

保育所では保育士6名、調理員3名である。(平成16年12月末現在)

問 臨時職員とは何ヶ月採用されるのか。

町長 臨時職員の期間は6カ月となっており、6カ月をすぎた場合、再任用で又6カ月採用するということである。



清水正巳 議員 地域活性化 何を推進するのか

町長 ほんまもん体験に力を入れたい

問 温泉館がオープン以来早5年となる。年々入湯客が減少し相当大きな負担になってきた。早く思い切った経営・集客方法を打ち、活性化できないか。

町長 17年度中に検討委員会を立ち上げできるように考える。

問 東高坪山、今後の開発用のメドは。

町長 現在はありませぬ。ほとんどが県立自然公園内のため、自然環境保護に努めたい。

問 三菱商事より寄付をもらった阿尾湿地帯、即利用とは行かないが今から計画を。

町長 県立自然公園及び県の鳥獣保護区に指定されており、当町の貴重な財産である。保全を基本に有効活用したい。

問 野鳥の観察場をつくり野鳥公園、沼地で育つ

植物、花を作り、クエと温泉館に相乗効果的な活用を考えたらどうか。

町長 有効利用のために、今後の検討課題としたい。

問 西山での風力発電テストの状況と具体化は。



鹿児島県佐多町の風力発電

町長 一年が経過し風況は良好と聞いており、具体化の可能性は高いものと伺っている。

問 日高町の海岸線には溢れるほどの観光資源がある、もつと本腰を入れて活性化策を練れないか。

町長 ほんまもん体験を通じ、日高町に人がきていただけるよう努力する。



海岸線の活性化を

職員の評価は 目標管理と絶対評価で

問 職員の給与を減額（調整手当）することになったが、本当の見直しは目標管理による評価が本当たと考えるが。

町長 地方公務員法第24条に基づき昇給を判断している。

昇格は職員の能力、成績を考慮して昇格させている。

問 地方公務員法第40条に、任命権者は定期的な評価を行い、結果に応じた措置を講じなければならないとあるが、何を基準に実施しているのか。

町長 担当課長から随時勤務状況について報告を受け参考にしてはいる。私も職員に接し執務、



勤務態度等の把握に努めている。

問 物事の評価に絶対評価と絶対評価があるが、勤続年数だけではなく、一定の基準値をクリアしないと昇給・昇格をさせない考えも考慮してはどうか。

町長 今後さらに評価の方法について検討したい。



天満 滋明 議員 核燃貯蔵施設への見解

町長 原子力関連施設には反対

問 町長は12月議会の行政報告と今議会の施政方針において、阿尾地内の湿原地の寄付について述べられたが、その中で小浦原発について今後も粘り強く中止を働きかけていくと言われた。

議会の中で二度にわたり原発に対しての発言には、他になにか関連する事柄があるのではと推測する。

御坊市では核燃貯蔵施設の件が話題になっている今、隣接町の町長としてどのような見解を持っているのか。

町長 市議会の一般質問の中で市長が「市として検討する段階にない」と答弁している状況で、隣接町の首長として見解を述べるべきではないと考える。

問 過去において本町住民は他町の方にはわからない過酷な苦い経験を味わっている。

町民が「うちの町長はこの件についてどう思っているのか」と考えるのが普通ではないか。

あまり色んなことを思わずに素直な気持ちで述べていただけなければ良いのだが。

町長 以前から原子力に関連する施設には、反対の姿勢を堅持すると言っているので変わらない。

問 将来については広域合併の問題が浮上してくると思われる。

12月議会の答弁で合併の気運が高まれば考える

町長 広域合併の話が出た時点で、はっきりと態度を示したい。現時点では差し控えたい。

広域合併との関連性は



どうなる核燃施設

ケーブルテレビ 実現を

問 今後、行革や経費の削減など厳しい取組みをしていく中、住民もそれなりに耐えていかなければならない。

このような時でもなにか希望や楽しみの持てる行政を展開していくのが努めだと思われる。

住民のニーズやサービスを考えた時、この事業の完成により少しでも明るい光や、町の活性化の1つの要因になるのではないかと考えるが、進捗状況はどうか。

町長 事業採択に向け努力しているが、採択は大変厳しい状況である。今回認められなかった場合でも引き続き全力を挙げて取り組んでいく。

問 今後採択され事業がスタートされた場合、各家庭への引き込み工事費等に、以前から活用されていない「ふるさと創生基金」を充当する考えは持っていないか。

町長 地域振興の一環として検討していく考えを持っている。



金崎 昭仁 議員

パイオフ全面解禁に対し公金の扱いは

町長 町民に心配をかけないように取り組む

収入役 決算書やディスクロージャー誌等で行い、収入役会等で情報交換を行う

問 経営状況の把握は、どのようにしているか。

収入役 専門的な知識が必要であり、率直に言つて安全面の分析は難しい。

問 万全な対策はとっているか。

収入役 自己責任による慎重かつ、的確な公金の管理が必要である。

問 4月より、パイオフ全面解禁（保護されるのは当座性預金などの金利ゼロのもの、利息の付く預金等については元本1千万円とその利子のみ）を迎えるの公金の扱いは。

特に、指定金融機関は指定金融機関連絡協議会で系統金融情勢の専門的な報告を受けるなどしている。

収入役 JAGグリーン日高、1カ所である。
問 JAGグリーン日高への保管金と、他の金融機関への保管金は。
収入役 2月末現在で、



日高町の指定金融機関

問 自然環境を壊さず、人を呼ぶための八ス公園等計画をどうするか。
町長 十分勉強する時間

収入役 平成16年9月の中間決算では、13.2%である。
問 JAGグリーン日高の自己資本比率は。

問 原発予定地であった土地を、暗いイメージから明るいイメージに変えるために、阿尾湿原を有効に利用すべきと考えるか。
町長 阿尾湿原地は、県の鳥獣保護区に指定されている。

阿尾湿原地の有効利用について

利用について

問 安心はできない時代であるが故に、今以上に情報収集すべきではないか。
収入役 県の出納長とも意見交換をしながら、私自身も情報収集していく。

問 町長の公金に対する考えは。
町長 町民の方に心配をかけないように取り組んでいく。

問 原発予定地であった土地を、暗いイメージから明るいイメージに変えるために、阿尾湿原を有効に利用すべきと考えるか。
町長 阿尾湿原地は、県の鳥獣保護区に指定されている。

問 国内基準8%と比較すると平均より高い方である。
問 JAGグリーン日高の自己資本比率は。

問 各種団体の方々も、調査及び実験を望んでいる。
町長 そのための、プロジェクトチームを作ってみてどうか。

問 阿尾湿原地は、県の鳥獣保護区に指定されている。
町長 有効に利用することは重要であると考えている。

問 自然環境を壊さず、人を呼ぶための八ス公園等計画をどうするか。
町長 十分勉強する時間



待たれる交差点改良（谷口地区）

町づくりの骨格整備を急げ

楠 新一 議員

町長 早期完成に全力で取り組む



いない。

キララときめきロード

が、キラキラと、きらめくのはいつになるのか。

町長 今後も精力的に、要望活動を実施していく。

町長 当町で一番交通量が多

問 広川南インターへのアクセス道路である県道井関御坊線の日高町側の改良は全く進捗していないが、見通しは。

町長 18年度からの事業実施に向け、取り組んでいる。

町長 9 集落を結ぶ唯一の連絡道である

問 海岸部 9 集落を結ぶ唯一の連絡道である。県道御坊由良線の改良も、ほとんど進捗して

町長 18 年度からの事業化を目指し、全力で取り組む。

町長 18 年度からの事業化を目指し、全力で取り組む。

町長 18 年度からの事業化を目指し、全力で取り組む。

合併問題報告会

問 全地区を、6 会場での合併問題報告会は、

役場職員も含めて、15 4 名とあまりにも少ない出席者数である。

既に決まったことに、

「今さら何を言ってもどうにもならん」との

住民の声を聞くが、単独を決める前に、住民の意見をきくべきであったのではないのか。

町長 委員会、議会と順序を追った結果である。

町長 十分検討する。

問 単独行政を選択した町長の姿勢、住民の意見を無視したこと、行財政改革等に対する住民の厳しい意見に今後どのように対処するのか。

町長 そう言ったご意見を、今後の行政に十分生かして取り組んでいく。

行財政改革

町長 本年度に、新たに行

問 本年度に、新たに行財政改革大綱を策定し、その推進体制の強化を図るため、行財政改革推進委員会を設けると言われるが、思い切った改革には外部からの意見を取り入れてはどうか。

町長 十分検討する。

町長 十分検討する。

町長 十分検討する。

町長 十分検討する。

町長 十分検討する。



西岡 佳奈子 議員

介護保険が大きく変わる

町長 十分勉強する

問 来年度から新予防給付の創設が言われている。要支援、要介護1の人の一部は介護予防のための給付だけしか受けられなくなる。

買い物や掃除などのホームヘルプサービスを受けられるから、一人で暮らしていけるという人もいる。

そんな人たちが利用できなくなったら大きな問題だと思いが、**町長** 日高町だけでどうこうできる問題ではないが、今まで通りできるほうが良いと考えている。

問 介護保険施設利用料負担の仕組みが10月から変わる。

住民税世帯非課税、年金額80万円以下の人は利用料が若干下がるというが、それ以上の方は

月額1万5千円〜3万4千円程度の値上がり(特養の場合)が見込まれる。介護保険料についても上がるのは確実といわれている。

制度全体が大きく変わるうとしていて、住民にとって良い方向となるよう考えるべきだと思いが。**町長** 十分勉強し、検討したい。



介護保険が保健衛生課の担当に

障害者福祉、応益負担は問題

問 障害者福祉、支援費制度が始まってわずか2年で、厚生労働省は失敗だった、「介護保険への統合を」と言い始めた。

統合を見越して応益負担の導入が行われようとしている。導入撤回を求めるべきだと思いが。

町長 今後審議されることだと思いが、負担能力を個人ではなく、世帯の経済力で見ることなどに見直しの要望も出ている。国会審議の動向を見守りたい。

問 「障害者自立支援法(案)」の中身は、自立を支援するものになっていない。サービス給付の抑制を

目的としている。日高町で影響を受ける人は何人か。**住民課長** 17年2月現在、施設入所6人、施設通所6人など延べ33人となっている。

問 問題は利用料1割負担と施設での食費である。厚生労働省の試算では、通所施設の平均的な利用料が現在の月額1千円から1万9千円に跳ね上がるという。「応益負担」という言葉を使っているが、障害を持つ人たちのサービス利用は、決して特別の利益を受けているものではない。

障害を持たない人と同レベルのラインに立ち、社会参加するための最低限の制度のはずである。国会審議中だからこそ、当事者の声を聴き、意見を上げるべきだと思いが。**町長** 重要なことなので、町村会の中でも話をし、要望を出せるものであれば出したい。



中村 性一 議員 自然環境を大切にす町づくりを

町長 阿尾湿原地の保全は町の責務

問 阿尾区民が原発の建設に反対して、裁判までした阿尾湿原地が町長の努力によって日高町に寄付された。

湿原地にはタヌキモなどの珍しい植物があると日高町誌に記されている。また県発行の「自然環境ガイドブック」には「アイワンウチヤンマなどの珍しいトンボの生息が紹介され、トンボの天国」と記されている。

まさにピオトープがなくても希少生物が生きていける自然環境である。今のままの環境を大切に守るべきではないか。
町長 海岸に面した広大な湿原地は当町の貴重な財産であり、その保全は町の責務と認識している。

問 阿尾湿原地は浜名湖などと同じように、昔、外海から分離してできた海跡湖だったと「ガイドブック」に記されている。湿原地にある生物は昔からのタイムカプセル的存在である。

外部から繁殖力の強い生物を持ち込まないこと

が大切ではないか。

町長 現状のままの自然を残すに越したことはないが、慎重に検討したい。

問 貴重な生物が生存する湿原地であることを町民の皆さんに知っていただくことが大切ではないか。

町長 広報等で町民に知らせるのが大事と思う。

問 阿尾湿原地は県立公園内である。

湿原地内に生息する生物調査を県当局に依頼してはどうか。

町長 現状把握のため、「県自然保護調査会」などの団体に一度お願いしてみたい。

問 将来的には自然公園の方向で考えてみてはどうか。

町長 今後の検討課題としたい。

谷川に清流を

問 原谷の通称「平畑谷」奥に山積みされている鶏糞が、大雨毎に大量の汚水となり、西川に流入している。

清流を取り戻す対策を考えられたい。
町長 今年度中に施設を建設し、発酵させ肥料として搬出すると聞いている。

問 谷水を利用して利用している民家もあり、行政指導を強められたい。

町長 今後行政指導を厳しくしていきたい。

問 毎年のように西川



山積みされている鶏糞

関と原因究明した結果、頭首工のせき止めによる水量不足のため酸欠になった。
今年から頭首工を数多く倒し、河川の流れを良くする。

委員会 レポート

内原東・西
処理区統合へ
下水道対策
特別委員会

3月4日、委員会を開催し、「内原東・西処理区統合による計画変更」「下水道事業の進捗状況とその取り組み」について担当課長より説明を受けた。



教育委員会委員に
玉石 守 氏

藤井宗二氏の任期満了に伴い、新たな選任に同意した。



監査委員に
松本 秀司 氏

玉置正之氏の辞職に伴い、新たな選任に同意した。

この計画変更が承認された場合、平成18年度から19年度で処理場建設、現在工事進捗中の内原東処理区は、平成19年度で完成して、平成20年度より供用開

始となる。また、内原西処理区も平成22年度で工事が完成。これにより集合型処理区は、すべて完成予定であるが、分担金の徴収時期等は検討すべきという意見が多かった。現在、供用開始後の集合型処理区の接続率は、阿尾地区で88・6%、産湯地区73・8%、比井地

区76・4%、小浦地区80%となっている。各地区の接続率のさらなるアップと、当町の重点施策である下水道整備事業の町内全域の早期整備に、なお一層の取り組みを要望する。



計画変更で着工まじの処理場予定地（高家地内）

陳情・意見書 精神障害者の通院 公費負担制度の存続を

意見書

政府は、「障害者自立支援法（案）」を提出した。その中で、精神障害者の通院医療費公費負担制度を廃止し、これまで5%であった医療費負担を原則10%にし、10月から実施しようとしている。

制度の廃止は、通院治療の中断、手控えを招き、病状悪化や命にもかかわることになりかねない。よって、精神障害者の生きる望みを奪いかねない通院医療費公費負担制度の廃止を、行わないよう求める。

「精神障害者の通院医療費公費負担制度の存続を求める陳情書」が日高病院労働組合ほか1団体から提出され、総務文庫常任委員会に付託。審査の結果、賛成多数で採択された。本会議でも、採択し、陳情趣旨に沿って、国への意見書を送った。



治療の拠点 日高病院

新しい議会構成

2月15日、平成17年第2回臨時会を開催した。

申し合わせにより任期2年となっている議長、副議長選挙を行い、一松輝夫議長、玉置正之副議長を選出した。また、任期満了による各常任委員、各組合議会議員の選挙等も行った。

議長 一松輝夫
副議長 玉置正之

議会運営委員会

市ノ瀬 進 松本 秀司
辻村 仁志 山本 源昭
中村 性一 岡本 長司



総務文厚常任委員会

西岡佳奈子 辻村 仁志
楠 新一 山本 源昭
玉置 正之 一松 輝夫
金崎 昭仁



産業建設常任委員会

岡本 長司 清水 正巳
山本 善啓 市ノ瀬 進
中村 性一 天満 滋明
松本 秀司



行財政改革検討特別委員会

山本 源昭 清水 正巳
辻村 仁志 市ノ瀬 進
玉置 正之 山本 善啓
中村 性一 楠 新一
金崎 昭仁 岡本 長司
西岡佳奈子 天満 滋明
松本 秀司

下水道対策特別委員会

楠 新一 西岡佳奈子
天満 滋明 松本 秀司
中村 性一 清水 正巳
金崎 昭仁 市ノ瀬 進

一部事務組合議会議員

御坊広域行政事務組合議会議員 山本 源昭
御坊市外三ヶ町国民健康保険事務組合議会議員 中村 性一
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員 辻村 仁志
日高広域消防事務組合議会議員 天満 滋明
御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員 松本 秀司

議会広報特別委員会

山本 善啓 清水 正巳
西岡佳奈子 楠 新一
玉置 正之 天満 滋明
金崎 昭仁



印は委員長
印は副委員長

編集後記

今年の春の訪れは少し遅れましたが、皆様には如何お過ごしですか。いつも議会だよりをご愛読頂きありがとうございます。さて、今号より新しいスタツフによる編集ですが、今まで同様に安心してお読みいただけるものと思っております。

前任者のときには、全国から視察団を受け入れるほどの優秀な議会だよりになりましたが、今期もより一層の努力を重ね、スタツフ一同がんばりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

山善